



よこすか市議会だより

No.20

平成28年(2016年) 5月19日号

YOKOSUKA CITY COUNCIL

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 ☎046(822)9394 [市議会事務局議事課]

横須賀市議会

検索

pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

発行 横須賀市議会
編集 横須賀市議会だより編集委員会

新年度予算を一部修正・可決



3月に完成した『ソレイユ☆パイレーツ』。県内有数の大きさ誇る遊具広場のメインとして、全長28mの船体に、滑り台やクライムネットなど様々な仕掛けが盛りだくさん。

平成28年第1回定例会が2月17日から3月25日までの38日間で開催され、主に平成28年度予算について審議を行いました。予算総額は、3,144億円で、「選ばれるまち横須賀」へのビジョンに沿った事業が提案されました。

2月25日から3月1日までの本会議では、市長等に対し各会派の代表6名による代表質問と無党派議員3名による個人質問を行いました。その後3月4日からは、4つの予算決算常任委員会の分科会に分かれて、所管部局ごとに詳細な審査を行い、次いで予算決算常任委員会において、一般会計予算に対し一部を修正する動議が提出され、賛成多数で可決となりました。

本会議最終日には、国からの地方創生加速化交付金の対象2事業(横須賀市健康マイレージ制度事業・日本版DMO設立準備事業)がともに不採択になったことについて議員5名が緊急質問を行い、健康マイレージ制度事業の見直しを求める決議案が提出され全会一致で可決しました。さらには、浦賀奉行所開設300周年事業に向け、奉行所の復元などを要望する附帯決議が可決されました。

100条委員会中間報告

12月15日、本会議において「吉田市長の不透明な市政運営に関する調査特別委員会」(100条委員会)は付議事件のうち、「日本丸の久里浜港招致問題」について、中間報告を行いました。報告の要点は、まず、市長は招致理由として「日本丸船長と面談した際に、日本丸側が久里浜港寄港を希望した」と答弁しましたが、実際は面談以前に招致依頼を横須賀市側から先方へ行っており、同招致の判断主体について、答弁は明白に誤っているため、市長の謝罪と答弁訂正並びに、市長と部局間の意思疎通が不適切であるとして、再発防止を求めました。次に、市長と日本丸船長との面談時の会話内容について質したところ、証人喚問における市長の証言と日本丸側の回答に相違があり、調査の結果、市長の証言は虚偽であると委員会は判断しました。自治法第100条は、証人喚問において虚偽の証言を認めた場合は、告発しなければならないと定めていますが、議会からの告発が持つ社会的な重みも考慮して、現時点で結論を出すことは拙速との判断に至り、告発の実施は今後の付議事件の経過を見て適切に対応することと決定しました。(委員長 木下憲司)

第1回定例会 代表質問・個人質問

松岡 和行 議員 自由民主党

市民の声を活かし住んで良かった横須賀へ

問 浦賀奉行所移転300周年記念事業を十分な準備期間を持つて行うべきではないか。
答 300周年の節目に向け、浦賀・鴨居地域運営協議会と意見交換しながら検討したい。

問 いのち貢献度指名競争入札制度の導入を検討してはどうか。
答 事業者の皆様の地域への貢献に配慮するためにも、災害緊急協力事業者制度の中で入札制度の内容を適宜見直していきたい。

問 認知症対策に係る今後の取り組み方針は。
答 認知症専門医、保健



浦賀奉行所復元模型

自宅を訪問し、包括的・集中的な支援を行う。

問 想定最大津波高が地域医療救護所や災害時備蓄医薬品保管所の標高を上回る状況を改善すべきではないか。
答 医師会とも協議しながら津波浸水被害のない場所への移設を検討する。

問 ひとり親世帯及び多子世帯に対し、学童クラブの補助を継続していくべきと考えるがどうか。
答 多子世帯利用料割引補助やひとり親世帯利用料割引補助については、一般財源により平成28年度も継続して補助を行う。

問 安定的な水産物供給のため、就業者にとつて漁業を働きがいのある産業に転換させる必要があるのではないか。
答 漁業者の所得を向上し、経営を安定させること

問 中学校完全給食実施に向け、まず中学校23校それぞれの状況分析を行い、最適な方式を選択する組み合わせ方式を実施方法の一つとして検討する必要があるのではないか。
答 7月に総合教育会議で今後の方向性を決定することになるが、完全給食を実施することになった場合には、提案にあったように中学校の現地調査をしっかりと行った上で、実施形態や運営方法を組み合わせる実施する方式も含めて、具体的に精査していく。

石山 満 議員 公明党

中学校給食・コミュニティバス



追浜地域で運営している「ハマちゃんバス」

問 早急に検討すべきとの認識なら、スピード感を持って対処すべきではないか。
答 具体的な方向性が決まれば、再来年度の予算を待たずに補正予算等の対応も考えていきたい。早い段階でできる検証作業は教育委員会内部でも行ってみたい。

山城議員への追悼演説

2月17日、本会議の日程に先立ち、昨年の定例会開会中の11月29日に急逝された故・山城保男議員の冥福を祈り、本会議場内の全員で黙祷を捧げ、ねぎしかず議員が弔辞として追悼演説を行いました。

2面へ続く

「1面からの続き」

追浜地域のハマチャ
んバスがボランティアで
運営している実態を考
えれば、市民協働事業
であり土木部ともに市
民部も積極的にわか
り、コミュニティバス
のあり方を市協働事
業として、助成制度
を含め検討する必要
があるのではないかと
答 市民部の市民協働

永井 真人 議員 無所属みらい

法人市民税一部国税化に市長分権に逆行

地方自治体固有の財
源である法人市民税の
一部国税化について市
長の見解は、

地方自治体固有の税
源である法人市民税の
性質は、企業が自治体
から受ける行政サービス
に対する負担であり、そ
の性質及びサービスの
価値が変わらないも
かかわらず、国が一
方的に法人市民税を
減額することは地方
分権の趣旨に反する
と考える。また、積
極的に企業誘致を進
め、本市にとって、イ
ンセンティブを著し
く損ねるもので、容
認しがたい。

企業誘致が進んだこ
とで減少しつつある
産業用地の現状は、
市が所有する産業用
地はYRPの0.2ヘク
タールを残すのみとな
った。当面は民間が
所有する土地を中
心に企業誘致を行
うことについて、政
治教育を行うこと
の必要性についての
認識は、

学習指導要領では小
学校6年生で政治の働
き

進補助金は、地域交通
の検討段階において、地
域のNPOなどが行う場
合の交通困難地域の調
査や、交通需要のアン
ケート調査などに適用
できる。また、地域交
通支援事業ガイドライン
の中で、新たな地域交
通導入における運行実
験に係る経費の一部を
補助している。

選挙啓発のあり方
を見直す必要性につ
いてどのように考
えるか。
若し有権者の投票率
が低いのは、他の世
代と比べて政治的関
心、投票義務感が低
いからだと各種アン
ケート調査結果など
から指摘されている。
若者に対する主権者
教育をいかに進め
るか、また、より多
くの有権者の方の政
治的関心をいかに高
めるかが重要であ
ると認識している。
よりよい方法につ
いて検討していく。

伊藤 順一 議員 市政同友会

市内経済の活性化

企業誘致には、市内
事業者から地元への
波及効果の強い企業
の誘致を求め、それ
は今後の市内経済発
展の重要な課題であ
る。

今回進出の決まった
企業は、さまざまな点
で地元への波及効果
をもたらしている。市
内からの雇用や建設
の際には地元企業の
参入を依頼していきたい。

観光を基幹産業と考
えるなら、観光客の
滞在時間をのばし経
済波及効果につな
げるのが重要だ。観
光バスの駐車場の
整備や宿泊施設の
誘致と増床の支援
をすべきだ。

新年度は観光バス
の招致の助成制度を
創設した。駐車場は
観光事業者の声を
聞き、対応策を研
究する。宿泊施設
を増やすために減
税制度や奨励金制
度などがある中
で、有効な施策を
研究していく。

指導者の雇用や
運営事務など、学
童クラブを保護者
が直接行うことが
大きな

伊関 功滋 議員 研政

人口減少は、最大の課題。早急に対策を！

総務省の報告では、
本市は転出超過数が
全国市区町村第2位
1,785人減であ
ったが、どの
様な対策をする
のか。

改めて危機意識を
強くし、定住促進
に向けた取り組み
を強化する。



秋にも一般公開が予定されている海上自衛隊横須賀地方総監部田舎分庁舎

望をかなえるなどを基
本に、人口減少に歯
止めをかける具
体的な策を推進
する。

本市の市立2病院
の統合に向けて、今
こそ検討を進める
べきではないか。

市立病院運営委員
会で様々な議論を
しているが、市立2
病院の統合につ
いて、提案があ
ったことを伝える。

定住促進が大きな
政策課題としてい
ながら、市職員が
市外に居住してい
ることは、問題で
はないか。

現在、市職員の約
23%が市外に居住
しているが、居住
の自由や地方公務
員法における平等
取扱

ねぎしかずこ 議員 日本共産党

市民生活を支えることを最優先にする市政を

市債の借入れが
始まって以来の
軽減額は、

「第2の夕張にな
る」発言は過剰な
不安を市民に与
えているので取り
消したらどうか。

財政基本計画策
定以降は用いよう
とは考えていない。

中学校完全給食
を実施すると決
まれば、自校方式
での検討を。

どういった方式
をとるのが一番
子どもたちにと
って最適かとい
う議論を進め
ていく必要がある。

市への提出書類
においてマイナ
ンバー未記載
でも受理し、一
切本人の不利
に及ぼさないこ
とを明言してほ
しい。

の原則に反しない範
囲で、職員の市内
居住を奨励する
方法を検討す
る。

よこすかポ
ートマ
ーケットの
循環バス
は利用客が
少ない。い
っそ、観
光地を周
遊するバ
スルー
トへ転換
を検討し
てはど
うか。

提案の観光
路線ルー
トは、利
用度の高
いルート
とされる
ので、観
光路線と
して前向
きに検
討する。



青木 哲正 議員 無会派

今後のまちづくりについて

市長のトップセ
ルスにつ
いて、吉
田市長は
県に全
く来ない
と言われ
る。横須
賀市は顔
が見えな
いと言わ
れないた
めに、県
に積極的に
陳情しな
いのか。

重要な局面
では自身
で交渉に
行く。

学力向上に
は体力向
上と生活
習慣の改
善が効果
的との結
果が出て
いる。学
力向上は
体力向上
からと多
くの専門
家の共感
も得られ
た。もっ
と強力な
予算配分
が必要で
はないか。

子育て世代
への情報
発信を強
化する必
要性から
、市HPへ
子育てサ
イトを開
設すべき
ではない
か。

小室 卓重 議員 無会派

「選ばれたまち横須賀」について

子育て世代
への情報
発信を強
化する必
要性から
、市HPへ
子育てサ
イトを開
設すべき
ではない
か。

すかりぶを
、利用者
目線に立
って修正
する。

パートなど
多様な働
き方を保
証するた
めにも一
時預かり
の必要性
は大い
いが、子
ども未
来プラ
ンにお
ける目
標実現
の具
体的方
策は？

藤野 英明 議員 無会派

昼食をとれない中学生の調査継続の必要性

本市にも貧
困をほ
じめる
様々な
理由か
ら昼食
をとれ
ない生
徒が在
る。市
立中
学校を
調査し
た結
果、毎
日もし
くは週
数日お
弁当を
持つて
こられ
ない生
徒の存
在が明
らかに
なり、
教育委
員会、
スク
ールシ
ャルワ
ーカー、

調査方法も
含めて検
討する。



ALT(外国語指導助手)授業風景

具体的な予
算化を
検討す
る。

中学校完全
給食で市
長が今や
るべきこ
とは実
施方法の
結論付け
と予算
確保のた
めの交渉
ではない
か。

まずは7月
の総合教
育会議で
今後の方
向性を決
定したい。

確保方策は
事業者へ
の意向調
査による
ものだが
、ハード
ルは高い
。事業者
の意向が
実現でき
るよう
に運営費
の補助を
行ってい
く。

基地及び
旧日本軍
関係の歴
史遺産を
、平和教
育に活用
すべきで
はない
か。

平和教育
という観
点でも活
用できる
ように心
がける。

予算決算常任委員会

平成28年度予算を一部修正のうえ可決

今定例会では、平成28年度予算議案を中心に審査を行い、分科会では「選ばれるまち横須賀」の実現に向け、「第2次実施計画」や新たに策定した「横須賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進に基づく主な事業に関連する予算案を中心に活発な質疑が交わされました。

3月23日の委員会では、各分科会委員長の報告を聴取した後、複数の分科会に関連するため、または政策的な判断を求めため「締

生活環境常任委員会(分科会)

新ごみ処理施設完成予想図が報告される

平成28年度一般会計予算及び水道・下水道事業会計予算の審査では、消費者啓発用町内会等回覧板を作製し各地域に配布する事業について、導入経緯と利用方法に関する質疑があり、各地域には消費者啓発に活用してもらいながら、現在使用中の回覧板が無駄にならないように運用を委ねることとするよう意見がありました。その他、



横須賀ごみ処理施設建設工事完成予想図

LED街路防犯灯の新設要望への対応、自主防災組織から補助メニューの要望を聴取する必要性、

(委員長 土田弘之宣)

地域運営協議会の交付金増額の検討状況及び優れた事業に十分な予算を充てる必要性、消防団応援の店の登録業種と目標件数、汚泥焼却炉更新における民間資本活用を検討状況など多くの質疑がありました。また、予算に関連して横須賀ごみ処理施設建設工事完成予想図が報告されました。建設費用は211億6800万円。鉄筋6階建ての建屋内に3炉を設け、処理能力は1日最大で計360トン。焼却施設は、国の定めるばいじんやダイオキシン類などの規制値を大幅に下回る自主基準を設け、耐震性の高い設計としています。今後4力年をかけて土地の造成や建築工事を実施し、東京オリンピック開催の年2020年稼働を目指しています。

総務常任委員会(分科会)

横須賀野菜ブランド化事業で多くの議論

次いで、平成28年度一般会計予算に対する修正の動議が提出され、ジュニア野菜ソムリエの資格取得に係る予算を減額修正し、中学校完全給食実施に係る調査経費を増額修正する旨の修正案の説明を聴取した後、質疑を行いました。次いで討論を行い、採決の結果、平成28年度一般会計予算は一部修正のうえ可決すべきものと決定し、その他の議案15件を原案とおりに可決すべきものと決定しました。

(委員長 青木秀介)

予算審査のあらまし

教育福祉常任委員会(分科会)

中学校完全給食の実施に向けて議論

平成27年度補正予算案の審査では、(仮称)中央こども園の建設予定地、横須賀市健康マイレージ制度事業などに対して多くの質疑が交わされました。



また、平成28年度予算案の審査では、うわまち病院建替え検討、看護師確保対策事業、市民病院での地域包括ケア病棟開設、障害児者への地域生活支援、ひとり暮らし高齢者支援事業、社会的居場所づくり支援事業、特別養子縁組推進事業、放課後児童クラブ助成事業、放課後全児童対策の検討、学校司書の配置、スクールソーシャルワーカーの配置、奨学金の支給基準、小学3年生の少人数指導学級の設置、学力向上に向けた取り組みなどに対して多くの質疑が交わされました。

中学校の昼食のあり方の検討に

(委員長 大野忠之)

平成27年度補正予算案の審査では、地方創生加速化交付金対象事業である観光立市推進事業の観光マーケティング調査や観光団体助成事業の日本版DMO設立準備などに対して質疑が交わされました。また、平成28年度当初予算案の審査では、横須賀創生プロジェクト支援事業の詳細、市内研究機関との連携強化、軍港史料館等検討部

都市整備常任委員会(分科会)

公園の施設計画や利用に向けて議論

平成28年度予算審査では、人口減少や少子高齢化社会に対応する拠点ネットワーク型都市づくりを推進するため、立地適正化計画と公共施設再配置計画を連動して進めていく必要性や計画策定後に事業縮退地域を検討していく必要性についてなど質疑が交わされました。

また、「くりはま花の国」のハーブ園に新たな大型遊具を設置することやガーデンカフェを開設することにより、集客増が見込まれることに対する安全管理対策の必要性、階段等の修復の必要性について質疑が交わされました。

その他、うみかぜカーニバルと第二海保船上見学会における予算上の関連性の有無、電気料金自由化実施後における契約電力会社見直しの検討の必要性について議論を交わしました。

(委員長 伊藤順二)



リニューアルが予定されているくりはま花の国



横須賀の大地の恵「横須賀野菜」

平成28年第1回定例会

審議結果

○は賛成、×は反対

Table with columns for 議案番号, 賛否が分かれた議案, 会派 (自由民主党, 公明党, 無所属みらい, 市政同友会, 研政, 日本共産党), and 無会派 (青木哲正, 上地克明, 小室卓重, 藤野英明). Rows list various budget and ordinance items with approval status.

*その他議案39件については、全会一致で可決または同意しました。詳細は市議会ホームページにも掲載してありますので、ご覧ください。
*議長は、議事を取り仕切る立場から、採決に加わりません。

【会派所属議員名】

- 自由民主党 木下憲司 田辺昭人 青木秀介 松岡和行 大野忠之 渡辺光一 南まさみ 井口一彦
公明党 板橋 衛(議長) 鈴木真智子 土田弘之宣 石山 満 関沢敏行 本石篤志 二見英一
無所属みらい はまのまさひろ 矢島真知子 永井真人 嘉山淳平 葉山 直 小幡沙央里 山本けんじゅ
市政同友会 伊藤順一 伊東雅之 加藤眞道 西郷宗範 杉田 惺 山口道夫
研政 角井 基 伊関功滋 小林伸行 高橋英昭 長谷川昇
日本共産党 大村洋子 ねぎしかずこ 井坂 直

意見書・決議・附帯決議

Table with columns 件名 and 結果. Items include budget amendments and opinions on health and transportation.

陳情

Table with columns 件名 and 結果. Items include petitions for transportation and park restoration.

* 審査終了とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。

第2回定例会のお知らせ

Table with columns 開催日 and 会議名. Lists dates and topics for the 2nd regular session.

*時間の記載がないものは10時開会です

編集後記

6名の委員のうち新人委員4名でスタートした委員会ですが、多くの方に支えられて市民の皆様にお届けすることができました。今後も議論を重ね、見やすい紙面づくりと分かりやすい内容にしてお届けしてまいります。



「選ばれるまち横須賀」にむけた最重点施策

(横須賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討特別委員会)

横須賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略にあたっては、本市の特性を生かし、独自の戦略を策定すべきとし、その策定の方向性について延べ10回の会議を開き、精力的かつ慎重に検討及び審査を進めました。
市民、企業、行政が一体となり、輝かしい未来に夢を持てるまちとして発展していくことを願い、昨年の12月15日、第4回定例会本会議において最終報告と提言を行いました。平成28年度から「選ばれるまち横須賀」の実現に向け、具体的な事業が実施されます。(委員長 田辺昭人)

観光客1千万人目指す！観光立市推進基本計画骨子案

(横須賀市観光立市推進特別委員会)

議員提案で制定した「観光立市推進条例」に基づき観光を産業の柱とするため、「観光立市推進特別委員会」を発足し、延べ5回の会議を開き、この間に観光に携わる市民等の意見を聞く場を設けながら議論を進めてまいりました。このほど2025年度には年間観光客数1千万人達成を目指す「観光立市推進基本計画」の骨子案が完成し、その骨子案に対する審査を行い、3月25日の本会議最終日に中間審査報告と提言を行いました。(委員長 土田弘之宣)